

平成28年度第2回北九州市立図書館協議会 会議録

1 会議名

平成28年度 第2回 北九州市立図書館協議会

2 議題

- (1) 「これからの図書館サービスのあり方について」答申（最終案）について
（図書館協議会会長より答申）
- (2) その他
（中央図書館 カフェテリアについて）

3 開催日時

平成28年7月22日（金） 14時～15時

4 開催場所

北九州市立中央図書館2階 第3会議室

5 出席者氏名

(1) 委員（会長他10名、欠席委員5名）

北九州市立大学図書館長	松尾 太加志
北九州市学校図書館協議会副会長	瀬藤 早苗
福岡県公立高等学校長協会北九州地区会長	固谷 寛
北九州市PTA協議会副会長	赤峰 稔朗
公募委員	白石 裕子
公募委員	谷之口 博美
北九州市社会教育委員	宮本 和代
北九州市婦人団体協議会理事	阿部 芳美
北九州児童文化連盟委員	柴原 佳代子
北九州青年会議所委員	末松 美緒
日本放送協会北九州放送局副部長	大坪 和弘

(2) 事務局（中央図書館長他6名）

中央図書館館長	石神 勉
中央図書館庶務課長	酒井 国広
中央図書館奉仕課長	埤谷 章子
中央図書館庶務課庶務係長	岩松 栄子

中央図書館奉仕課奉仕係長
中央図書館視聴覚センター館長
教育委員会企画調整課子ども図書館担当係長

東 豊
三栗谷 進
古郷 浩一

6 傍聴者
なし

7 会議次第
議事（報告、質疑応答）

8 会議経過（発言内容要旨）

(1) 「これからの図書館サービスのあり方について」答申（最終案）について

資料1「これからの図書館サービスのあり方について」答申（最終案）」に基づき、
前回からの修正箇所について事務局から説明。

(会長)

前回の会議でご指摘いただいた点および事務局の方で数字等を確認し、新たに修正した箇所について説明いただきました。内容は前回ご承認いただいていると思いますので、先程の修正箇所について、ご質問やご意見ありませんか。

私の方から、よろしいでしょうか。後半の図書館関連資料のうち、延床面積の数字が変わるところですが、この数字が変わると、その横の人口千人当たりの面積や一番下の平均の数字も変わると理解してよろしいでしょうか。

それから同じく関連資料の3ページ下の表、1館当たりの貸出冊数ですが、中央図書館は単独なのでこのままの数字で、地区図書館と分館は1館当たりに修正し、また一番右の増加率も修正されるということでしょうか。

(事務局)

そのとおりです。

(会長)

ほかにご質問、ご意見ありませんか。ほかにご意見ないようですので、この最終案でご承認いただきたいと思います。委員の皆様方、これまで、いろいろとご協力いただき、ありがとうございました。それでは、この最終案をご承認いただきましたので、これを中央図書館長に答申してよろしいでしょうか。

— 委員一同 承認 —

(事務局)

それでは、今回の答申につきまして、ただいま、図書館協議会としてご承認いただき

ました。1年間以上の長きに渡り、ご議論いただき、ありがとうございました。これより、松尾会長より、「答申」を石神中央図書館長にお渡ししていただければと思います。

－ 図書館協議会会長から、中央図書館長に答申 －

(館長よりお礼の挨拶)

ただいま、松尾会長から「これからの図書館サービスのあり方について」答申をいただきました。

先程、会長のお話にありました通り、昨年6月から、検討小委員会が6回、図書館協議会が今回の会議を含めて6回、ほぼ月1回のペースで委員の皆様におかれましては、活発なご議論、ご審議いただきました。

おかげ様をもちまして、これからの図書館の基本的運営方針を定めていただきました。誠にありがとうございました。内容的にもこれまで定めていなかった基本的方向性、あるいは、図書館の運営を担う人材の育成方針を示していただきました。

また、文化施設との連携、或いは市民の皆様に対する課題解決の支援など、本当に多くの新しいご提案をいただきました。私ども図書館職員は、この答申に基づきまして、更なる市民サービスの充実に努め、邁進させていただきます。

今回、図書館協議会の委員の皆様におかれましては、この答申文書の作成に当たり、大変ご支援賜ったことに深く感謝申し上げますとともに、これからも引き続き、市民に親しまれる図書館づくりにつきましてご支援、ご協力をお願い申し上げます。私のお礼の言葉とさせていただきます。誠に有難うございました。

(2) その他

(中央図書館 カフェテリアについて)

資料2「中央図書館カフェテリアについて」に基づき、事務局より説明。

(委員)

具体的な取り組みに、「作家によるトークイベント等」とありますが、例えば講演会等の企画やお手伝いとして、将来、図書館ボランティアの方が入るということはありませんか。

(事務局)

「作家によるトークイベント等」は、まずは文学館が企画するものを考えていますが、将来、図書館で企画することがあれば、ボランティアの方にご協力いただくということもあると思います。

(委員)

文学館のPRにもなりますし、相乗効果で良いと思います。カフェテリアを多目的に使えるということがとても素晴らしいですし、コーナーに本もあり、一段と利用者が増えるのではないかと思います。

(委員)

資料2 ページ「カフェテリア内の図書等の取扱い」の中に「なお、カフェテリアで購入した飲料、コーヒーなどは当面、図書館内に」とありますが、「当面」を付けた理由を教えてください。

(事務局)

現在は、学習室や、持ち込み可能な飲食コーナーにおいて、ペットボトルの飲料を飲むことが可能です。新設されるカフェテリアで販売の飲料は蓋付きとする予定ですが、実際にどのような形で利用されるかわからないので、実施後の状況を見ながら、運用方法を変えていきたいと考えています。そういう訳で「当面」という文言を付けました。

(委員)

「学習室および飲食コーナー」とありますが、カフェテリアが工事中なので、飲食コーナーを2階に設けていると思っていたのですが、カフェテリアが出来ても飲食コーナーは残すということですか。

(事務局)

カフェテリアは利用せずに食事をしたいという方の飲食の場所として、飲食コーナーは残します。また、来年から子ども図書館の工事に入る予定ですが、その際に、飲食コーナーがそのまま使えるかどうか考えたいと思っています。

(会長)

座席数はどれくらいですか。

(事務局)

約50席を考えています。以前、飲食コーナーとして利用していた時の座席数が約50席でしたので、今回も同じ程度の座席数を用意したいと考えています。

(館長)

10月初旬のオープン前には、協議会の委員の皆様にご案内を差し上げて、ご覧いただき、食事等をしていただこうと考えています。なお、現在、すでにカフェテリア内に書棚が置かれていますので、この協議会后、ご覧いただければと思います。

(小倉南図書館の指定管理者選定について)

事務局より、口頭で説明。

(事務局)

以前、小倉南図書館については指定管理者で行うと説明申し上げました。現在、小倉南図書館は、平成29年度内開館を目途に整備を進めており、指定管理者の選定は、平成28年8月下旬頃から募集要項を配布し、28年度内に指定管理者の選定を行いたいと考えています。

小倉南図書館は新設の図書館ですので、新しく職員を集めなければなりませんし、また、図書館を整備する中で、指定管理者の意見を聞き、運営方法について意見交換することを考えています。それで、1年近く準備期間を取っています。このように、現在、

小倉南図書館の指定管理者の選定を進めている状況です。

(会長)

ほかに何かご意見・ご質問はありますか。特になければ、本日の協議会はこれで終了いたします。